

行田人

ぎょうだびと

第25号誌

2026年 [制作・発行]

- 行田市在宅医療・介護連携推進協議会
- 行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当
TEL.048-556-1111(内線 338・278)
- 行田市在宅医療・介護連携支援センター
TEL.048-553-2003

管理栄養士による
訪問栄養指導について

食事でお困りではありませんか？

食欲がなく
食べる量が減ってきた

食事中に
ムせることがある



やせてきた

退院後の食事に
不安がある

「訪問栄養指導」で、 あなたの食卓をサポートします！

自宅などで療養生活を送られていて、通院が困難な患者様を対象に、管理栄養士がご自宅に訪問して食事の面からサポートさせていただきます。住み慣れた環境で生活しながら、食事に対する不安や問題を解決し、安心して過ごしていただくことを目的としています。



サービス利用のご案内

利用できる方

- 通院がむずかしい方
- 自宅で療養されている方
- 食事や栄養に不安がある方

こんな支援をおこないます

- 食べやすい食事の工夫（やわらかさ・形態の調整）
- 病気（糖尿病・腎臓病等）にあわせた食事の提案
- 低栄養予防・体重減少への対応
- 栄養補助食品の使い方のアドバイス

訪問栄養指導料と交通費をお支払いいただいています。

【訪問栄養指導料】

①介護保険で指導を行った場合

1割負担:545円 2割負担:1,090円 3割負担:1,635円

②医療保険で指導を行った場合

1割負担:530円 2割負担:1,060円 3割負担:1,590円

【交通費】 行田市内:275円(税込) 市外:550円(税込)

利用方法

- 訪問栄養指導は、医師の指示に基づきご利用いただけます。
- まずは、かかりつけ医または担当ケアマネジャーへご相談ください。



「食べる」を支える地域の取り組み 行田市栄養士会(えんむすび)

～市内外**50施設が連携!**食形態マップでつながる食の環境づくり～

私たちの想いと活動



行田市および近隣の
管理栄養士・栄養士が連
携して、誰もが最期まで
安心して食事ができる
地域づくりに取り組んで
います。



食形態マップ(えんげ安心マップ)の作成



行田市栄養士会(えんむすび)では、「最期まで
口から食べられる町行田」を目指し、食形態マップ
(えんげ安心マップ)を作成しました。

共通ルールで安心!

- ★共通の目安…転院や入所時も、スムーズに食事情報を共有
- ★安心の質…飲み込みやすさに応じた適切な食事提供をサポート

★参加施設募集中★

行田市医師会と市役所HPへ掲載予定

《対象》食事を提供する介護事業所、病院 など

対応できる範囲でOK!
まずはお気軽にご相談ください

**「食べる楽しみ」を
すべての人に**

食べることは生活の楽しみであり、生きる力につながります。
私たちはこれからも、誰もが自分らしく楽しめる地域づくりを
進めていきます。



●お問い合わせ…(事務局) 行田中央総合病院 栄養科 TEL.048-553-2115

健康豆知識

糖尿病と歯周病のかかわり

糖尿病とは

糖尿病は、血液の中のブドウ糖（血糖）が慢性的に高い状態が続きます。

我が国では、糖尿病予備軍を含めると2000万人が罹患しているといわれています。

主な原因は、インスリンというホルモンの働きが不足したり弱くなったりすることで、血糖をうまく下げられなくなります。血液の中の糖が長いあいだ高い状態が続くと全身の血管や神経が少しずつ傷んでいきます。

その結果として、網膜症、腎症、神経障害、動脈硬化など、さまざまな合併症が起こる病気です。

歯周病とは

歯周病は、歯周病菌が原因となり歯のまわりの組織（歯ぐきや骨）が、炎症を起こし、少しずつ壊れていく病気です。進行すると、歯ぐきが下がったり、歯がぐらついて最終的には抜けてしまうこともあります。

歯周病と糖尿病の関係

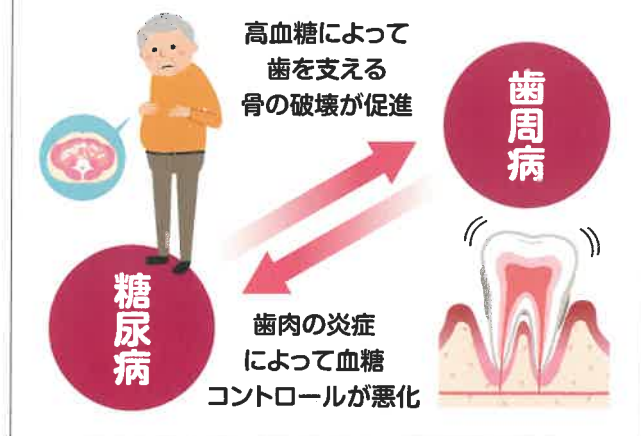
糖尿病では「全身の血管が傷みやすい」「傷の治りが悪くなる」という特徴があり、また全身の抵抗力も落ちるため歯ぐき細菌と戦う力が弱くなり、歯周病が進行しやすくなります。

一方で、歯周病で歯ぐきに炎症があると、その炎症物質が血液に入り、インスリンの効きを悪くして血糖コントロールを乱しやすくなります。

このため、糖尿病と歯周病は**互いに悪影響を与え合う**関係にあります。



糖尿病と歯周病の双方向の関係性



糖尿病と歯周病の治療

●糖尿病の治療

糖尿病の治療は大きく分けて次の三本柱で進めます。

- 1) 食事療法…食事内容のバランスや量を整える
- 2) 運動療法…適度な有酸素運動
- 3) 薬物療法（飲み薬や注射など）…食事と運動だけで血糖コントロールが難しい場合、薬を使います。

* どれか一つだけではなく、これらを組み合わせて「血糖値を安定させ続ける」ことが目的になります。

●歯周病の治療

- 毎日の丁寧なブラッシング…プラーク（細菌のかたまり）を除去する
- 歯科医院での専門的な口腔内清掃…プラークや歯石を除去する
- 歯周外科処置…進行した歯周病に対する外科的処置

次のような症状があれば、できるだけ早く歯科を受診した方がよいでしょう。

- 歯みがきや硬いものを噛むと歯ぐきから血が出る
- 歯ぐきが腫れている、むずがゆい、痛い
- 口臭が強くなった気がする
- 歯が長くなったように見える、歯がグラグラする

歯周病は、治療で進行を止めたり、ゆるやかにすることはできますが、放っておいて自然に元通りということはほとんどありません。

歯周病治療や毎日の丁寧な歯みがき、定期的な歯科受診で口の中の炎症を減らすと、血糖コントロールの改善につながる可能性があります。

広報誌「行田人」バックナンバーのご案内

行田市ホームページ内にて「行田人」のバックナンバーがご覧いただけます。

「行田人」は、市民の皆様へ向けた医療・介護に関連するさまざまな情報を毎号ご紹介しています。

右記のQRコードから、ぜひご覧ください→



医療介護連携事例紹介コーナー



介護老人保健施設グリーンピアでの事例

退院後の自立支援に向けて…

事例

仮の症例です。

80代 Aさん 女性。

心不全で入院し、車椅子の状態での退院。家族は同居しているが、自宅の住まいが二階のため、戻れずに老健（介護老人保健施設）に入所する。認知症なし。入院前は問題無く生活できていた。

対応

① 将来自宅で生活できるように老健への入所を勧める。

*老健とは…「老健＝介護老人保健施設」は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。利用者ひとりひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを、医師をはじめとする専門スタッフがを行い、夜間でも安心できる体制を整えています。

② 自宅内の動線も確保し自宅環境を整えた。

③ 日中は家族がいないため、通所サービス、配食サービスを利用し家族の介護力不足を補う。



効果

老健でリハビリすることで、階段昇降ができるようになる。現在は歩行器使用にて、問題無く自宅での生活を継続できている。

ポイント

退院後の生活は「家の構造」と「家族の支援力」で大きく変わることがあります。

老健を「自宅復帰のためのリハビリの場」として活用し、通所や配食などのサービスを組み合わせることで、在宅生活を支えられることができた事例です。

（フラット 高田、普及啓発 新井）

